

ぶんぶんゴマ

※活動人数は制限なし

さいたま市立館岩少年自然の家

ねらい	④自然で創作	所要時間	1.5時間
身に付くことが期待される項目	①思いやり・協力 ②成就感・達成感 ③自然への関心 ④課題発見・設定 ⑤思考・理解 ⑦学習との関連付け ⑧体力・健康への関心		
概要	「ぶんぶんゴマ」という名前は、回転しているときに出る音からきています。この活動は自然の素材を使い、その対象をよく見つめることによって自由な発想を生かすことのできる活動です。 手作りのよさ、道具の使い方を知り、完成後は色や模様をつけて自分だけのオリジナル作品を創り上げましょう。		

1 準備する物

【学校・団体で用意するもの】

・油性ペン

【館岩少年自然の家で用意できるもの】

・のこぎり・きり・穴あけ台

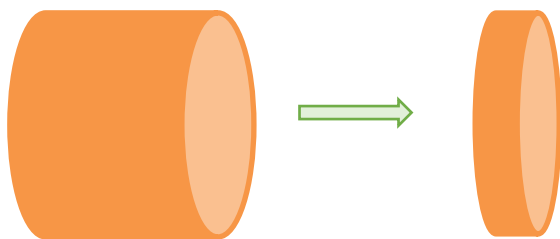
【館岩少年自然の家で購入できるもの】

・ぶんぶんゴマセット

2 具体的な活動内容

① 丸太を輪切りにする。

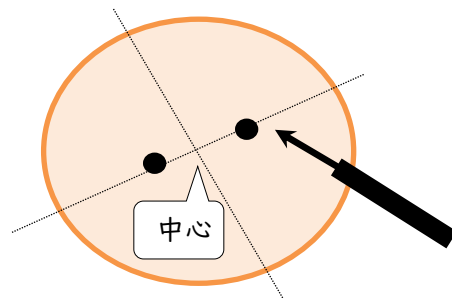
・丸太をのこぎりです5mmくらいに切り、切り口をやすりで磨く。



② きりで穴をあける。

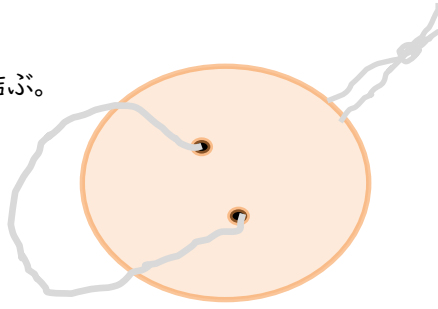
・切り口の中心から5mmくらい等間隔で2か所きりで穴をあける。

※ きりで穴をあけたところにタコ糸を通すので、片側だけでなく、両側から穴をあけ、反対側が見えるように穴をあけましょう。



③ タコ糸を通して完成。

- ・きりであけた穴にタコ糸を通して糸の両端を結ぶ。



3 活動上の留意点

【活動を指導する先生方へ】

- ① 児童生徒にのこぎりや、きりの使い方を指導してください。のこぎりが折れたり、刃が曲がったりすると、次に使用する学校ができなくなる恐れがあります。
- ② 使用前、使用後にのこぎり、きりの数を確認し、元の場所に収納してください。

4 身に付くことが期待される項目の具体例

③自然への関心

- ・木の硬さや質のちがいについて気が付く。
- ・自分で一つの作品を作ることによって、自然のものに興味をもっている。

④課題発見・設定

- ・木を切ることを通して、図工で扱っている木との切りやすさの違いに気づき、木の硬さについて疑問をもっている。

⑦学習との関連付け

- ・図工：「のこぎりの使い方」、「きりの使い方」の内容と関連づけている。

⑤思考・理解

- ・穴をあける位置を見つけるために、年輪をよく観察し、年輪の幅の違いについて考えられる。

②成就感・達成感

- ・自分の作品が完成した時に、達成感を得られる。
- ・自分でつくったぶんぶんゴマを回せたときに、達成感を感じられる。

⑧体力・健康への関心

- ・のこぎりを安全に扱うことができる

①思いやり・協力

- ・穴をあけるために木をおさえるなど協力している